

平成26年5月8日(木)発行

道建協とうほく

No.56

発行 一般社団法人 日本道路建設業協会
東北支部 広報委員会



【白石城(H26.4) 前田道路㈱佐藤敏幸氏】

目

次

行事報告	-----	1
対外活動	-----	3
幹事会・委員会活動	-----	5
随想	-----	7
会員だより	-----	9

行事報告

1. ふくしま浜街道・桜プロジェクト

社会貢献活動の一環として、2月22日(土)に南相馬市原町地区で行われた、桜の苗木を植樹するボランティア活動へ13名が参加しました。植樹ボランティアに先立ち2月10日(月)には、松谷支部長はじめ清水広報委員長、地元会員の堀江工業(株)鈴木土木部長などが、桜プロジェクトの実行委員を務める事務局を訪問し、西本理事長にオーナー基金を贈呈しました。

本プロジェクトは、浜通りを縦断する国道6号及び常磐道・県市町村道沿線に桜を植樹し桜並木を繋ぎ、桜並木を復興のシンボルとして発信し、後世残していくことを目標にしています。10年で2万本の植樹を計画しており、2年目の25年度は予定を上回る2700本の植樹を完了し、トータル4700本に達しています。

(清水広報委員長の奮戦記は10ページ)

2. アスファルト混合物事前審査について

1) 立入調査部会

アスファルト混合物事前審査制度における審査の公平かつ公正を担保するため、立入調査部員の技術レベルの平準化を図ることを目的に研修を実施しました。

日時：平成26年2月20日(木)

場所：仙台市情報・産業プラザ(アエル)

次第：立入調査部会長あいさつ

講話 「アスファルト混合物事前審査制度 品質向上への取組み」

(一社)日本道路建設業協会 舗装企画課長 加藤 卓宏

最近の調査結果

第65～68回アスファルト混合物事前審査委員会 報告

事前審査に関するアンケート結果

2) 第69回アスファルト混合物事前審査委員会

日時：平成26年3月13日(木)

場所：ハーネル仙台

昨年12月に申請のあった19混合所330混合物の審査を行い、全ての混合物が認定されました。平成25年度の審査・認定状況は次の通りです。

	認定年月	混合所数	認定混合物数
第66回	2013年7月1日	23	370
第67回	2013年10月1日	22	394
第68回	2014年1月10日	32	535
第69回	2014年4月1日	19	330
計		96	1629

上記の他、下記の追加認定を行ないました。

・骨材不足に伴う骨材変更(追加)への対応 2混合所6混合物

2. 舗装施工管理技術者資格試験について

平成26年度舗装施工管理技術者資格試験の受験申込みが、2月21日締切られ、申込者数が下表の通り確定しました。試験日は6月22日(日)で、仙台会場は昨年と同じく1級が東北福祉大学(ステーションキャンパス)、2級が東北電子専門学校で行います。

()内は前年比

	1 級		2 級	
	H26	H25	H26	H25
仙台	632 (86%)	736	324 (80%)	403
全国	4,877 (90%)	5,431	1,918 (79%)	2,421

3. 舗装施工管理技術者 技術講習について

平成26年度舗装施工管理技術者技術講習の日程が決まりました。今年度も東北では盛岡と仙台の2会場で開催します。

- ・日 時・場所 仙台会場 10月 1日(水) 仙台国際センター
盛岡会場 10月21日(火) いわて県民情報交流センター
(アイーナ)
- ・受 講 料 8,000円
- ・申込み期間 5月8日(木)12:00~6月30日(月)17:00

申込み方法、及び申込み書類の入手は、協会本部ホームページ「平成26年度舗装施工管理技術者 技術講習のお知らせ」を参照。

<http://www.dohkenkyo.or.jp/pavement/kousyu/index2014.htm>



対 外 活 動

(H26/2/1 ~)

1 . 東北地方整備局関係

1) E E 東北

【第3回】作業部会

日 時：平成26年4月23日(水)

場 所：フォレスト仙台

出席者：稲辺委員、事務局長

議 題： E E 東北 ' 1 4 実施計画
E E 東北 ' 1 4 予算案

【第2回】実行委員会

日 時：平成26年5月8日(木)

場 所：フォレスト仙台

出席者：松谷支部長、松澤幹事長、石井技術委員長

議 題： E E 東北 ' 1 4 実施概要
E E 東北 ' 1 4 予算案・今後の予定

2) 国土交通省直轄事業における社会保険未加入対策及び

公共事業の円滑な施工確保対策等に関する説明会

日 時：平成26年3月14日(金)

場 所：東北地方整備局

出席者：事務局長

議 題： 公共事業の円滑な施工確保対策について
・地方公共団体への取組要請について
・直轄の取組について
技能労働者への適切な賃金水準の確保について
国土交通省直轄事業における社会保険未加入対策について
その他
・営繕工事における不調・不落対策について
・消費税転嫁対策について
・平成26年度多様な入札契約方式のモデル事業支援業務につい

3) 建設資材対策東北地方連絡会

【第1回】

日 時：平成26年4月30日(水)

場 所：宮城自治労会館

出席者：阿部委員、事務局長

議 題： 建設資材の需給見通と課題・問題点と対応状況について
対応策等に関する意見交換

2. 東日本高速道路(株)東北支社関係

NEXCO東北支社舗装技術検討会

日 時：平成26年3月3日(月)

場 所：東日本高速道路(株)東北支社

出席者：検討会協力委員 浅田、稲辺、藤永技術委員

議 題： 舗装構造の損傷診断方法の精度向上・効率化
舗装の耐久性向上方法

3. 宮城県関係

1) 宮城県復興事業暴力団等対策協議会

【設立準備会】

日 時：平成26年2月20日(木)

場 所：宮城県行政庁舎

出席者：事務局長

議 題： 設立趣旨説明

【設立総会】

日 時：平成26年3月19日(木)

場 所：宮城県自治会館

出席者：事務局長

議 題： 設立趣旨報告
規約(案)、役員(案)、暴力団等反社会的勢力排除宣言(案)
役員挨拶、役員紹介
暴力団等反社会的勢力排除宣言

2) 建設資材対策東北地方連絡会 宮城県分会

【第3回】

日 時：平成26年3月19日(木)

場 所：宮城県自治会館

出席者：事務局長

議 題： 建設資材の需給見通しについて
課題と対応状況について
各地区連絡会における現状と課題について
生コン仮設プラント稼働に向けた状況について

4. 後援行事等

1) 【第6回新春特別講演会】(東北PPP推進連絡協議会・主催)道建協支部・後援

日 時：平成26年2月24日

場 所：仙台ガーデンパレス

出席者：松谷支部長

テーマ：『「創造と可能性」をいかす東北再生は』

講 演：「東北経済の発展に向けて」東北経済産業局 総務企画部長 鶴岡 正道

「農政の展開方向について」東北農政局長 佐々木 康雄

「東日本大震災からの復興、そして将来に向かって」

東北地方整備局長 小池 剛

幹事会・委員会活動

(H26/2/1～)

1. 幹事会

【第6回】

日時：平成26年3月5日(水)

出席者：松谷支部長、近藤幹事長、幹事11名(齋藤、石井、原、清水、杉崎、菅野代、松澤、宮村、小野、皆川、大西)

議事：活動の概況(1/22～)

事務局長会議報告

平成25年度決算見込み

平成26年度予算(案)

平成26年度本部表彰推薦

委員長人事

平成26年度幹事会日程

4月期異動により、近藤 雅孝 幹事後任として、齋 享 氏を選任
宮村 博三 幹事後任として、田村 治 氏を選任

2. 公共工事委員会

【第3回WG】

日時：平成26年3月14日(金)

出席者：委員8名(佐藤力、熊本、手塚、新田、鎌田、若狭、田澤、大山)

議事：インフレスライド要望書について

現道工事収益実態調査について

交通誘導員単価調べについて

本部議題について

26年度活動方針について

【H26 第1回WG】

日時：平成26年4月18日(金)

出席者：委員6名(佐藤力、新田、鎌田、若狭、田澤、大山)

議事：長期保証工事の現状での問題・課題、評価について

新設・維持補修(複数年)の現状での問題・課題、評価について

整備局との意見交換本部議題について

3. 安全環境委員会

【第6回】

日時：平成26年3月19日(水)

出席者：宮村委員長、原副委員長、委員9名(伊藤勝、秋山、大谷、伊藤忠、佐々木、高木、永澤、荒瀬原、北原)

議事：支部長表彰工事の推薦について

改訂パトロール点検表、点検基準について

26年度年間計画について

4. 防災委員会

【第3回】

- 日時：平成26年2月24日（月）
出席者：杉崎委員長、菅野副委員長、委員13名（中上、鈴木、高野、堂尻、北川、新田、浪岡代、鎌田、奥村、井田、坂上、大山、小野寺）
議事： 25年度 総合防災訓練報告書（案）について
26年度の活動計画について
その他
・仙台空港災害協定について

【仙台空港災害協定打合せ】

- 日時：平成26年2月27日（木）
出席者：委員2名（新田、大山）
東京航空局・稲又専門官ほか1名
仙台空港事務所・太田総務課長ほか2名
議事： 協定書（案）について

第66回定時総会のお知らせ

第66回定時総会及び懇談会を下記により開催いたします。

- ・日時：平成25年6月6日（金）15時～（懇談会 18時～）
- ・場所：ホテルメトロポリタン仙台



『還暦とゴルフ』

福田道路株式会社 東北支店
執行役員支店長 皆川 淳一



道建協会員の皆様、日頃よりお世話になっております。私事で恐縮ですが、私には絶対に来ないと思っていた還暦を昨年10月についに迎えてしまいました。そのせいか、今まで何を感じなかった単身生活がちょっと寂しく感じられる今日この頃です。

しかし東北福友会(当社協力会)の皆様方から還暦を祝うゴルフコンペ、子供達と孫からも盛大な還暦祝いをしていただき、すごく幸せな男だなと感じているところであります。そんな折、広報誌への寄稿の依頼が舞い込みました。全く無趣味な私にとって何を書いたらいいのか、仕事一筋??の私は非常に困りました.....

昨年6月に長女の縁談がまとまり、相手方の両親と婿殿が挨拶にやってきました。色々とお話をしているうちにゴルフの話題になり、婿殿の父親はゴルフ練習場を経営、私も何回かそのゴルフ練習場に通っておりました。

長女から婿殿のゴルフ上手は聞いておりましたが、常に70台でラウンドすると。でも最近ドライバーの飛距離が落ちて250ヤード位しか飛ばないんですよ。(180ヤードしか飛ばない私はどうなの?)そして極めつけは婿殿のお父さん(72才)の一言。先日エージシュートを達成しました...その2人に今度一緒にラウンドしましょうと誘われて、それは楽しみですと言ってはみたものの、あまりのレベルの違いに、最近忙しくてなかなか会津に帰れないん

ですよとへたな言い訳をするのがやっと。

和やかな時間を過ごし、帰りがけに婿殿からゴルフの景品で頂いたという湯呑みをプレゼントされました。その湯呑みにはゴルフの名言集が書かれており、読んだら面白い文句だったのでご存知の方もいらっしゃるかもしれませんが紹介したいと思います。

【ゴルフ名言集】

- ・ゴルフの唯一の欠点は面白すぎることだ
- ・ゴルフの上達に近道はない
- ・ゴルフはすぐ上手にならないがいつ始めても遅すぎることはない
- ・ゴルフとは朝に自信を与えるかと思えば夕べには自信を失わしめるゲームである
- ・ゴルフで最も重要な鉄則で最も守れない鉄則は眼からボールをはなすなということだ
- ・100シューターはゴルフをおろそかにし
90シューターは家庭をおろそかにし
80シューターはビジネスをおろそかにし

70シューターは全てをおろそかにする何か自分の事を言われる様な言葉ではあるが何故上手にならないのか?でもゴルフはスコアよりも楽しんでやるのが一番。我々の本業と同様に「楽しく安全第一」でやりましょう。道建協の諸先輩方のご指導の程よろしくお願い致します。

『東北に赴任して思うこと』

株式会社 佐藤渡辺 東北支店
常務執行役員支店長 原 義久



東北支店に赴任してから早や一年が経ちました。

赴任前は炊事・洗濯・掃除・・・と単身生活に不安を抱いておりましたが、実際に生活してみると最初は大変でしたが、徐々に慣れてきて今では「女房がいなくても何とかなるものだ」と思えるようになりました。（決して女房を軽んじている訳ではありませんが）

赴任当初は単身マンションの居心地が悪く自宅に帰るとホッと一息つけたような気がしましたが、半年も経つとそれが徐々に逆転し始め、今ではすっかりマンションの居心地の方が良くなり自宅での居場所がどんどん狭くなっていくような感じがしておりますが、夫婦円満のために月に二回は自宅へ帰るようにしています。

また、帰郷・帰任の新幹線の車中で私は「トランヴェール」の愛読者になっています。

皆さんもご存じかと思いますが「トランヴェール」とは新幹線の座席裏のポケットに配備されているJR東日本の「東北の旅お勤め冊子」です。東北を良く知らない私にとっては非常に好都合な冊子で毎月欠かさず愛読しています。そのお蔭で春には白石川の一目千本桜、夏には会津・猪苗代の散策、秋には鳴子峡・裏磐梯の紅葉、冬には雪の蔵王で温泉に浸かり十数年ぶりにスキーを楽しんできました。今年は是非東北の祭りを見たいと思っています。これも東北勤務ならではと感謝しております。

話は少々変わりますが、私は新幹線に乗る機会が増えたお蔭で、乗車前に駅中の書店で本を買う事が多くなりました。ジャンルには捉われずその日の気分で買うようにしてい

ます。先日、岩波文庫の「論語」という本を買ってみました。これも皆さんご存知の通り「論語」は古代中国の大古典「四書」のひとつで、孔子とその弟子たちの言行を集録したもので、人間として守るべき・行うべき、至極当たり前の事が書かれた本です。その中で私が気に入った言葉を一つ紹介します。それは「子曰く、君子は人の美を成して、人の悪を成さず。小人はこれに反す」です。この意味を私なりに解釈すると・・・

「良きリーダーは部下の美点を褒め伸ばして使い、欠点をあげつらったりしない。人は長所を褒められるとモチベーションが上がり良い結果に繋がるが、欠点を責められるとモチベーションが下がり悪い結果に繋がる。組織を動かす人間が心得なくてはならない事はその組織を構成する全ての人の長所すなわち強みを引き出すことである。なぜなら、一人で仕事をしている時はその人の強みも弱みも全て表れるが、組織で仕事をしている時は各メンバーの強いところだけを出してもらえば必然的に弱いところをカバーすることができる。」と言う事だと思えます。

私は多くの部下と付き合ってきましたが、彼らが仕事に喜びを見出すのは仕事を通じてその人自身が成長を実感した時だと思えます。また、組織は様々な人で構成されていて夫々得手不得手があるという事を念頭に入れて各メンバーに上手く仕事を配分することが我々リーダーの仕事だと思えます。

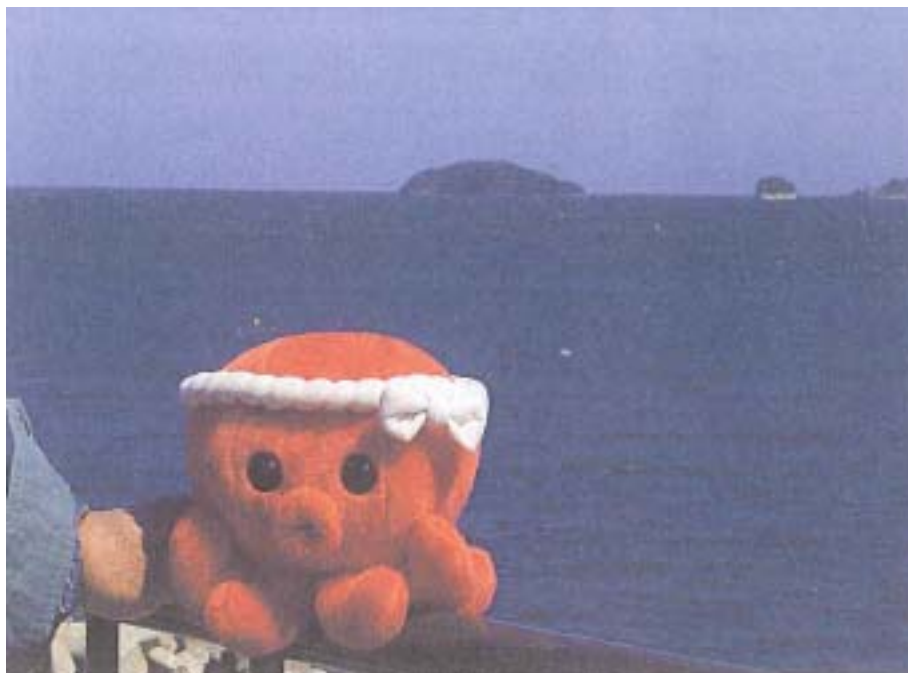
少々硬い話になってしまいましたが、私もこの言葉を肝に命じて組織を動かしていこうと思っております。

会員だより

『 大好きな大切なふるさと 』

常盤工業株式会社 東北支店
松 浦 雅 子

宮城県志津川町（現在は南三陸町志津川）は夫の生まれ育った町です。
国道45号線を北上して行くと一面の海が目の前に現れます。（海は広いな～）
戸倉波伝谷の実家は、海まで数十メートル、裏は山という絶景の場所。
初めて訪れた時、どんぶり山盛りのあさり汁！に驚き、数々の海の幸の半端でない量と美味しさに感激！
口は荒いが気の優しい太っ腹で豪快な人達にとってもかわいがってもらいました。
ただ、話している言葉の意味がわからず通訳が必要な事が度々・・・。
海で泳ぎ、船で島に渡りつづ貝を採ったりと、山・田畑に囲まれた中で育った私にとっては新鮮なことばかり。
そうして20数年が過ぎた時、突然実家や多くの人を失ってしまいました。
でも、優しい人達に会い笑顔を見るために美味しい海の幸（たこ・ほや・かき・昆布・ふのり）を食べに、これからも行き続けます。甦る町を見届けるためにも…………。
私の大好きな大切なふるさと「志津川」へ。



『ふくしま浜街道・桜プロジェクトボランティアに参加して』

広報委員長 清水俊介

さる、2月22日道建協東北支部は今年のボランティア活動として「ふくしま浜街道・桜プロジェクト」に参加し桜の苗木植樹を行いました。この企画は、2011年3月11日の大震災で大きなダメージを受けたこの地域住民に元気と希望を与えたいとして、福島県内の国道6号、茨城県境のいわき市から宮城県境の新地町までの総延長163キロ内及び沿線の県市町村道に桜の苗木を10年かけて植樹するプロジェクトです。

当協会はボランティア植樹に先立ち、2月10日、松谷支部長と福島県内会員代表として堀江工業(株)鈴木土木部長が大雪の中、福島県双葉郡広野町にあるハッピーロードネット事務局を訪ね、西本由美子理事長へ「桜プロジェクトオーナー基金」の贈呈を行いました。(ハッピーロードブログにも掲載)

さて、ボランティア当日は午前10時福島県南相馬市原町区の道の駅「南相馬」に集合。前週予定されていた植樹が大雪のため中止となったこともあり、多くのボランティアの参加が予想されたため当方は広報委員会メンバーより選りすぐり13名での参加となりました。小学生から高齢者まで地元住民の方、東北各地からは勿論のこと、関東、関西からの参加者もあり、総勢約70名で行なわれました。

開会式では、江口南相馬副市長から現在の南相馬市の復興状況の説明や、藤原東北地整磐城国道事務所副所長からは国道6号復興状況と植樹の際の道路上での注意事項等の説明がありま

した。そしていよいよ植樹開始です。バス組と徒歩組の二手に分かれて南相馬市内の2ヶ所で行いました。天候に恵まれたこともあり、植樹場所への移動時も高校生のにぎやかな声が弾む中、植樹も学生から年配の方まで協力し合って順調に進み午前中には完了しました。

ところで植樹の際、ふと相馬高校から参加した生徒と地元から参加したと思われる年配者(70歳ぐらいでしょうか)との会話で最近の高校生活はどうかと問う声や、この地域の土地柄や昔の事などを教えている話声が聞こえてきました。高校生たちの元気な笑い声と地元の方の熱い思いにふれ、この地で復興を支える大きな力となるのは、人から人へ脈々と受け継がれる生活や伝統、それこそがこの地・福島の将来にとって大事なことになるのだらうと感じました。

この元気な地元高校生たちが50年60年後、おじいさんの年齢になった時、今植えたばかりのこの小さな桜の木とともに地域はどのように復興し、元の姿を、元の生活を、取り戻せているのかを考えさせられた一日となりました。

最後に、道建協東北支部はこれからも復興ボランティア活動に積極的に取り組んでまいります。

今後ともご理解とご支援ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

(本文は「道路建設」5月号にも掲載)



編集後記

道建協とうほく 56 担当

常盤工業(株) 東北支店 伊藤 忠良
東京舗装工業(株) 東北支店 柴田 秀明
前田道路(株) 東北支店 佐藤 敏幸

平成26年2回目の広報誌発刊に際し、大変お忙しい中、ご寄稿いただきましてありがとうございました。

厳しい今年の冬から解放され、桜の季節ですが、今年の夏は5年ぶりのエルニーニョ現象で冷夏とか。

そして、東日本大震災から3年過ぎました。今でも時おり各地で地震が起きています。今後、首都直下地震や南海トラフ巨大地震が確実に発生すると言われています。

日本列島に加わっている巨大な力が、何百年、何千年に1度開放されて地震を起こす。この時に、岩盤のどこが割れるか、また何時割れるか予測できない。

よって、地震が起きる「日時」「場所」「大きさ」を予知することが地震予知であります。超高速のコンピュータを用いても確定は困難とされています。複雑とはいえ「桜開花宣言」の如く「地震予知」の進歩を期待するところです。

復興事業には、建設工事が不可欠です。

東日本大震災の公共事業推進また、東京五輪の事業等で全国的に建設工事が増加し「建材の高騰」「作業員不足」により公共工事が停滞している現状であり、一刻も早い打開策を講ずる必要があります。

今後、「巨大地震がおりうる」という覚悟のもと、教訓を基に建設工事の取り組みが不可欠であります。

大震災の反省を踏まえ、日本道路建設業協会におきましても、実践的に動きやすい計画を備えておくことが必要であると思います。



【一目千本桜(大河原町)H26.4.12】

